

'13のべおか

# 第九

のべおか第九だより (第498号)

2013年10月12日 (土)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

ホームページ: <http://dai-9.info>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。 ----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
■ 合唱幻想曲 ■ 聖夜 第九	◆ ソプラノ	27人	20人	74.1%	60.0点
■ A (237~330小節) p.9~18	♥ アルト	51人	34人	66.7%	62.0点
■ B (411~654小節) p.21~35	♣ テノール	19人	12人	63.2%	72.9点
■ C (655~762小節) p.35~47	♠ バス	23人	17人	73.9%	68.5点
■ D (795~920小節) p.50~63 12月15日まであと <b>63日</b>	● 合計	120人	85人	70.8%	65.0点

## ♪16年ぶりの黒岩先生の指導…



【次ページからその指導内容を文字にしています。楽譜に書き込んで本番に備えましょう。】

## @ 「合唱幻想曲」 編

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

★…お話し

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

- ★ 443 【お話し】 お久しぶりですね。何回か来たことがありますので、以前僕と一緒に演奏された方もいらっしゃるんじゃないかな。「合唱幻想曲」のほうからやりましょう。ソプラノの先生がちょっと遊んで!?くださるといって(笑)。ソロの部分からやってみましょう。398小節あたり…弾ける?…素晴らしい! ソロはあなた(土佐田さん)に決まった! (笑)。
- 444 【Gro - Bes.】 みなさん Gro- にアクセント、付けてくれた? …う〜んと。
- ★ 444 【お話し】 だからこの音楽を演奏したときに、聴いてくれる人が「ああ本当にそうなんだ!」と思えるようなね、“ドーン!”って心に来るようなやつが欲しいと思ってこういうようにやろうとしているわけ。で、それに比べると皆さんの思っていることのほうが僕よりも“ポーっ”としてるんだと思う(笑)…もう一回やろうね!。
- 445 【das ins Herz ge -】 “das”にアクセント。
- 448 【por; hat ein】 “por;”にアクセント。



- 453 【hin, ihr schö - nen】 “hin,”にアクセント。
- ★ 453 【お話し】 オーケストラは、ここをうんと強くやるんだよ。sf。合唱は sf まではいかなくてもいいと思うんですが、オーケストラを包むような感じの音を狙っていいこうね。
- 454 【See - len, froh die】 “See” にアクセント。
- 457 【Lieb' und Kraft ver -】 “Lieb'” にアクセント。
- 461 【Nehmt】 “Nehmt”にアクセント。
- 462 【hin,】 “hin,”にアクセント。
- 463 【nehmt】 “nehmt”にアクセント。

- 464 【hin, ihr〜】 464〜465小節、音符が短いので今よく聞こえてるんですが、どことなくやっぱり声が痩せている。8分音符だけでも非常に豊かな感じの響き方を持ち込もう。
- 464 【hin, ihr】 “hin,”にアクセント。
- ★ 464 【お話し】 自然な成り行きでだけ歌っていると堂々としたリズムというものが出てこないんで「イチだよ!」というのをね。
- 466 【See - len,】 みなさんの楽譜、pになってますね。fは強く、pは弱く。なによりもね、ここが始まるときにソロのピアノが入ってくるんですよ。それを聴かせてあげるための書き方でこういうふうになってるんです。
- 467 【nehmt〜】 pになってたということは良かったんですが、アウフタクト“nehmt”のほうが強くて“hin,”が霞んでる!? あくまでも1拍目が音楽上重要です。そこに実態がなければならぬ。
- 468 【hin,】 “hin,”にアクセント。
- 470 【hin,】 “hin,”にアクセント。
- 471 【die〜】 ここからの8分音符4個“die Ga-ben schö-ner”全部アクセント。



- 490 【Kunst, froh die〜】 …(最初に全部通して歌って)…ちょっとですけど、重いんですね。だいたいこういうふうを考えたらどうかな、Prestoに入る前までは“1と-2と一、1と-2と一…”と来ますよね。その“…2と一”を“1,2,”に読み換える。“1と一1,2、1,2,1,2,…” Prestoは2つに割った速さをそのまま持ち込む。
- 547 【Nehmt die〜】 ここからの数小節、ちょっと重いんですね。それで何と比較して重いかというと、ピアノの伴奏が“タカタカタン…タカタカカタカタン…”となっていくのと、オーケストラもそれやるんですよ。だからあんまり小回りの効くように皆さんに譲歩するということができないんで、皆さんがそのレールの上をしっかり乗らなければいけない。今よりこの部分をリズムをはっきり出すようにして歌ってみましょう。  
 ……O.K.みなさん、リズムしっかり取ってくれたから、ピタッと揃うであろうところにきました。良かったんですが、cresc.するときに声が痩せてるというかね、「これが声でホールが鳴りわたる、響きわたる…」という感じね。声が喉からこう出てくるとまずいんだな。  
 ……ここ(指揮台)はちょっと場所として皆さんの歌を鑑賞するには悪いのかもしれないけど、どもなんかいまイチ足りないような気がするんだな!? (柳田先生に相談) なんかもまだ出そうな感じだ

って。それは何っていうのかな、力で押したような目一杯な頑張りではなくて、非常に豊かになっ  
たいく…というのが出きるんじゃないかな。



- 550 【Ga - ~】 “Kunst.(554)”までの4小節がもうちょっと丸い艶やか、響く…という感じの声いしたいんだけど。ちょっと痩せてるんじゃないかな。いつも皆さんが合唱の発声のときにゆったりしてるのが活かせてるかどうかなんだよね。
- 556 【Wenn sich~】 ここ、多少遅れるようです!?
- 569 【und~】 più fが入ってますよね。そして4つ後(574)にffが出てきますよね。このffになるときにもうちょっと強調できるかな。だからpiù fとffというところを少し余裕を残そう。で、音量でいくよりは音質でいくようにして、ffは本当に目一杯いこう。
- 596 【Gunst.】 最後の2分音符、もう心持ち長めにしましょう。578小節で4分音符で歌い終わる所ありますね。あれと区別して最後はテヌート気味に歌って、響きを堂々とさせよう。

## @ 「第九」 編

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

★…お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

- 238 【Freu-de!~】 …ちょっと待って!! 皆さん、ここところは歓びのほうに向かうか、あるいは悲しいほうで歌うか…どっち?? それからここは f で朗々と歌うべきか、ソフトヴォーチェで歌うべきかどっちですかね!? そういう極端な選び方をしないとだめです。僕が言いたいのは、あなたたちのはその中間だから“聴いていたくない”!! …いいですね。まず f でうんと輝かしく歌う。それについてはだんだん声を良くしてくれればもっと良い。  
……“Freu”に比べて“-de!”が短すぎだと思えます。“-de!”のほうももっと長く歌おう。それから -de! の ə の母音なんだけど、ちょっと a に寄せてやりましょう。そしてちゃんと胸が開くように。  
……それでもうちょっと“…3,4,”というアクセントがあって踏みとどまるという感じね。  
……“Freu”に比べて“-de!”が全般的に弱くなってるね!?

- 257 【Dei-ne Zau-ber】 …ちょっと待って! まずここは f ですね。f として体じゅううんと使ってこれ以上歌うと危ないというところまで行ったかどうかなんだけど…どうですかね? …みなさん。相当余裕あるところで歌ってたんじゃない?? …でね、演奏ということ、歌っている人がまず“素晴らしい!”と思う事がないといけない。それをみんなで共有できればいいんで。“つままないなあ…”と思って歌うと、それだけでペツちゃんこになってしまうから。ダメだよ! 絶対 f。明るく、アクセントもしっかり付けて。
- ★ 257 【お話し】 だいぶ積極的になってきた事はうれしい。だけど困ってる! なぜならば皆さんが僕を寄り倒す!? 僕より速く歌おうとしている!! しっかり僕とがっぷり四つに組んで、絶対に速くならない!!
- ★ 285 【お話し】 みなさん、4分音符をもうちょっとずつ長めにしましょう。1個ずつ全部スタッカートみたいになっている、切れてる感じがする!? もうちょっとテヌートの感じ、入れてみようね。……さっきより断然、豊かな感じになってきた。それで力で押すのではなく、響きで…。



- ★ 313 【お話し】 アルト以下のパートがもうちょっと声を出したほうがいいかな。ソプラノはとても良く聞こえています。
- 321 【und der~】 “Che-”が極端に短い音にしてみましたよね。全部どれをとっても2分音符に聞こえるように、ちょっと長めにしようね。スタッカートの・が書いてあると思いますが、うんと短いという意味ではなくて区切りがあれば大丈夫。
- 330 【Gott.】 途中で息していいからね。ここはなかなか立派でした。そういうふう立派に歌ってくれと、そのあと僕は引っ込まないからね(笑)。そんだけ歌えるというのを知ったから。……とっても良く聞こえてくる方の声と、そのほかのみんなの声が分離している!? みんないっせいにいそうね。パートの声を聴かせるつもりで。
- 411 【Lau-fet,】 ちょっと立ち上がりが遅いんです!? オーケストラの音もちょっと遅れて聞こえるだろうから、僕の棒を見て合わせてね。……ちょっと待って! 遅れないようになったのはいいんだけど、僕を追い越してる(笑)。僕を追い越すと当然オーケストラをも追い越してしまうことになる。ガッシリね。
- 426 【freu-dig】 8分休符はあるんですが、そのためか …di… を非常に短く歌ってますよね!? ちょうど8分音符ぐらいに。そうすると4分休符ぐらい残ってる感じになってるので、(この前後)全体に2拍目をもっと長く歌おう。

- 543 【Freu-de,~】 みなさん一つ一つの音、もうちょっと長めにしよう。極端なこと言えば皆さんね、“Freu、 de、 schö、 ner” って具合になってる!? 全部、テヌートをかけて、アクセントも全部かけて、それで体も全部使えて…でいこうね。  
……あのね、さっき歌ったのに比べると、今のがずーっといいですね。みなさん今度は新しい部分にいても今みたいに歌いましょう(笑)。みなさんケチでさ、僕が言わないと出してくれないんだ!?(笑)。言うとおせるんだよな。それで出せたらそれをさらに磨こう!!
- 543 【Freu-de,】 この音から非常に立派な音になるようにしよう。この前はオーケストラ、ホルンが小さい音で“パパー、パパー”と吹いて直前2小節でcresc.。みなさんがそれを輝きのように受け止めて。
- ★ 543 【お話し】 あのね、さっき歌ったのに比べると、今のがずーっといいですね。みなさん今度は新しい部分にいても今みたいに歌いましょう(笑)。みなさんケチでさ、僕が言わないと出してくれないんだ!?(笑)。言うとおせるんだよな。それで出せたらそれをさらに磨こう!!
- 554 【trun-ken,~】 “-ken,”が極端に短いですね!? それをちょっとテヌートにしましょう。4小節ごとにそういう危ないところが出てくる!? Mの4小節目(546)の“-ken,”もみんなまで長くしてね。特にソプラノね。562小節の“-der,”もテヌート。
- 561 【bin-den】 “bin-”にアクセント。
- 563 【was die】 “was”にアクセント。



- 566 【teilt; al~】 ここから ff。ここから2小節半先の最後までcresc.書いて。同じ形がこの後(582)にきます。528小節の2拍目から2小節半、cresc.グーッと書いといて。
- 595 【Seid um~】 ff で立ち上がったなら、“…schlun-gen,”までちょっとずつcresc.を入れましょう。“Seid…”が減ってしまうと感じが出ない!? sf みたいに入ってちょっと弱くなったらcresc.に転じていってください。  
……“Seid”の間にcresc.。  
……“um-schlun-gen,” 全部アクセントを。  
……もうちょっと“Seid”の間にcresc.を付けて、その結果として“um-…”などにアクセントを。
- 599 【Die-sen】 “Die-”にアクセントとcresc.。
- 600 【Kuß der】 “der”のところにもうちょっとcresc.を。

- 603 【Seid um-~】 女性ね、男性がやったのと同じように“Seid”にアクセント付けて入ってから cresc.。そして“um-schlun-gen,”それも1個ずつアクセント付けて。男性も同じように歌ってね。
- 606 【o-nen!~】 “o-”にアクセント付けて。この前の“Mil-li-”の間はcresc.ね。
- 619 【Brü-der!~】 3拍のあとの4分音符“-der!”ね、あれが今バラバラなのね!? 3拍目の頭を意識してください。で、あなたたちの中の3じゃなくて、僕がいつ3を振っているのか。で、その後に4分音符を正確に入れる!! これでいきましょう。
- ♠ 622 【zelt muß\_】 sf、これをもうちょっと多めに出してみましょう。
- 622 【zelt muß\_】 この後のアルトとテノールのところは良く聞こえていました。
- 626 【woh-nen.~】 “woh-nen,”2つアクセントを書きましょう。この1小節前からはcresc.を書きましょう。
- 634 【o-nen?】 もうちょっと大きめに持っていきましょう。“-nen?”に mf を書いておいて。そこまで cresc.して。
- 635 【Ah-nest】 ここはまた pp。
- 636 【du den~】 “du”を歌っている最中にもうちょっとcresc.多めにしましょう。そして“Welt?”まで cresc.。
- ★ 649 【お話し】 (ピアノ伴奏に)…ソシドミソーの3拍目にミを入れて…ミードー…。



- 650 【~】 女性、pp で歌い始めるところ…は怖いよね。極端に pp でなくてもいい。丸く出そう。
- ★ 655 【お話し】 …あのね皆さんね、さぞかし疲れるだろうと同情もしてるんです(笑)。ただ、今日1回ぐらいしか練習ができないんです。なので、ぜひとも本番で輝かしく歌ってくださるための素材づくりを今がんばりましょう。
- ♠ 730 【Ihr stürzt】 さっき歌ったときはちょっと遅れてたんです!?
- ♠ 733 【o--nen?】 ここで歌い終わる…終わりなんですけど、次も自分たちが歌うとすると、ちょっと cresc.傾向でいきますよね。だからさっきみたいに“完全に終わった”という感じに持っていかないで次に繋げる歌い方でいこう。

♣ 734 【Ah--nest】 テノールはちょっと速すぎるんです!?

- 758 【ein\_】 真ん中膨らませるしるし“<>”ありますね。もうちよい小さく始めましょう。それでフワ〜っとふくらみを作る。  
……割と良かったのですが、“ein\_”の入り、もうちょっと小さくしよう。赤ちゃんがここにいるとして撫でてあげるときぐらいの分量。ひっぱたかないで。
- 795 【Dei-ne Zauber,~】 ちょっとcresc.の感じが足りないと思う!? 6小節あるうち最初の2小節は少しでいいと思うけど、残った4小節はグーッとcresc.して。



- 807 【Men-schen,al-le】 “Men-schen,”にアクセント。
- 808 【Men-schen, al-le】 “Men-schen,”にアクセント。
- 809 【Men-schen,al-le】 “Men-schen,”にアクセント。
- 810 【Men-schen wer-den】 この前の小節まではテンポのまま。全然遅くしないでいきましょう。そしてこの小節の“1”からゆっくりにします。したがってゆっくりdecresc.してください。  
……“Men-”は良かったと思います。“-schen”をうーんと長くゆっくりdecresc。  
……decresc.してその後、3,4拍でのcresc.これをもうちょっと多めにしましょう。
- 811 【Brü-der, wo dein】 “-der,”も長く。  
……“wo dein”から後のところなんだけど、ちょっと僕のほうが動こうとしてるんだけど、皆が付いてきてくれてないから…みなさん、油まみれになった鳥みたいだ(笑)。軽々と動こうね。
- 830 【Men-schen,】 そこ(809)と小節間違いないように。
- 831 【al-le】 “al-le”は堅くね。テンポのまま。  
……“al-le”にアクセント付けよう。
- 832 【Men-schen!】 “Men-”に入ってからゆっくりにします。
- 880 【Die-sen~】 ここからの2分音符の続く部分、ちょっと短めだったです!? 1個ずつ全部アクセントは良いですが、テヌート書きましょう。



★ 920 【お話し】 みなさん、ちょっと心強い気もします。今日、楽譜に書いてくださったことを毎回の練習の中で活かして身に付くようにしようね。やはりね、我々がここで演奏会を開くにあたっては、せっかくなので聴いてくださった方に“本当に来て良かったなあ!!”としみじみ思ってもらいたい。そうするをきついけど我々はやらなきゃしょうがない。やろうね! はい。終わらしましょう(拍手)…



◆もう必死!

◆楽しかった。

◆エネルギーがいりました。やっぱり大ホールは気持ちいいです。本番まで頑張ります。(M)

◆雨ですが来ました。安全運転で帰ります。(バーバママ)

◆第1回目の黒岩先生の指揮での「第九」を経験した私にとって、やっぱり「ああ、黒岩先生の第九だあ〜」となつかしく嬉しくなりました。あの頃は先生指導してもまったくついていけなかった合唱団。(セロ弾きのゴーシュ)

◆少しずつ声が出てました。声が出てくると気持ちいいです。

◆すばらしかったです。言っている事がわからない所もありましたが、とてもよかったです。

◆懐かしい黒岩先生の指導、とてもパワーをいただきました。声の調子もほぼ元に戻り一生懸命歌うことができました。ソプラノはやはりパワーがいる。(m♪)

◆黒岩先生よろこそ延岡へ(1997年以来ですね)延岡は朝から生憎の雨です。黒岩先生の16年前の記憶より今日の練習に厳しさを感じました。(年を重ねたせいかな?)ご指導ありがとうございました。

◆黒岩先生の直接指導、とても素晴らしかったです。今回で6回目です。(M.Yoshimoto)

♥大雨でもきたよ。よく頑張っているネ。

♥楽しかったー。だんだん声が出てなつかしいでした。バンガ口。(4年生)

♥ほんとうに懐かしゅうございます。あの頃の白いヘアバンドが今日はカラフルでしたネ。きびしさの中にもやさしい笑顔。夢中で指揮を見て歌いました。以前、東京の合唱センターで指揮法のご指導を受けた事もまるで昨日の様に思い出しています。ありがとうございました。(イマ カン)

♥ありがとうございました。(チー ママ)

♥黒岩先生のご指導で、たくさんのお話を学ぶことができました。これからの練習に生かしていきたいと思います。

♥最近、日曜日というと雨ですね。我が家のおとなり?の小学校も明日が運動会らしいのですが、やっぱり雨で中止なのかしら。お気の毒です。(ねずみバーバ)

♥久しぶりの黒岩先生、すてきです。本番がんばります。

♥松岡先生のご回復、順調ということよかったです。久しぶりで声が出ません。黒岩先生、ヘアバンドがカラフルでとてもチャームングです…メリハリを意識して、ゆたかな声で。むずかしいですね。がんばります。

♥今日は黒岩先生のご指導、楽しみにして来ました。パワフルな指揮に合わせてポーンと声が出せるといいな…♡

♥今日の練習はとてありがたかったです。(Emily)

♥黒岩先生、楽しいレッスン、ありがとうございます。(すずめ)

♥とてもエネルギーッシュなご指導で懸命に歌いました。おつかれ様でした。(ヨッチン)

♥熱心な御指導を有り難うございました。最終的な見直しをし、とりくみたいと思います。

♥メリハリがはっきりついて歌いやすかったです。

♥黒岩先生のやさしい表情は昔と変わらず、すてきでした。力強いご指導に感動しました。

♥黒岩先生のおっしゃることを書き留めるのが精一杯で、これから頑張ります。

♥飛行機のお話をお聞きして、やっぱり宮崎の青空を見て頂きたかったな～と想いました。少しもお変わりない先生のお優しいゆたかな指導に感動しました。

♥今日は黒岩先生にご指導していただきました。細かい所もたくさん指導していただいたので、とても勉強になりました。

♥ありがとうございました。

♥今日は楽譜に書き込みがいっぱい。本番が活かせるよう練習を頑張らなくてはと思いました。

♥雨の中、ありがとうございました。頑張ります。(ひよっこ 5才)

♣黒岩先生、20年振りにお会いできることは誠にうれしいです。

♣もっと発声練習をお願いします。

♣おつかれ様でした。ちょっと疲れましたが。でも大きな声で歌ったつもりです。(M0056)

♣細かな指導に感謝。(T.Kawa)

♣久しぶりにテノールで通して歌いました。何か新しい景色が見えて来たような…?(歌太郎)

♣久しぶりの練習で疲れた。

♣黒岩先生、ご指導ありがとうございました。先生に育てていただいてやがて30年を迎えます。いつもよい音楽の世界に誘っていただいております。今年もどうぞよろしくお願い致します。(す)

♣ごぶさたしておりました。今年は家族の看病が複数で、週末、大阪、和歌山へ行って参加できませんでした。本番に向けて追いこんでいきますので、今年もよろしくお願い致します。(マッチャン)

♣徐々に良い響きの合唱になっていってました。豊かな響きを目指して!(K14)

♠黒岩先生の指揮、16年ぶり力ののった指導で力いっぱい歌えた。満足。楽譜に書いてあったメモと同じことを指揮されてなつかしかった。(ソルトビーチ)

♠練習日に何かと行事が重なり、出られなくなることが多くなった。1回1回を真剣になるしかない。(Tyuu)

♠さすが偉大なるマエストロ! 感動しました。この感覚を忘れないように新鮮さを保ちたい。(がみchan)

♠今日は黒岩先生のレッスン日、頑張らなくちゃ!! それにしても出席者の少ないのが気に掛かる。

## ●編集後記

次回は**10月20日(日)18:30~21:00**

黒岩先生の指導はいかがだったでしょうか。私は16年ぶりの再会となりました。でもそのときはまだこのように文字起こしをやっていなかった頃で、細かな注意点まで追いきれていませんでした。今回はその内容を出来るかぎり文字にしています。指摘された箇所は各自、楽譜に書き込みしていただき、本番まで頭に入れ、歌える様にしてください。



また、この指導の内容は動画でお分けすることもできます。8GBのSDカードをご持参いただければ、その中に書き込んで対応いたします。ファイルはパソコンで再生することができますが、iTunesというソフトに読み込んでいただければ、iPadやiPhoneで再生して利用することも可能です。

ひとまず数枚、自前のSDカードに書き込んで練習に持参しています。動画でさらに指導をマスターしたい団員は私、堀田までお申し付けください。【[nobeoka@dai-9.info](mailto:nobeoka@dai-9.info)】